

分で考える場面が多く、丁寧かつ簡潔に説明してくださるため、身になるものが多いです。教育は、教員としての職務以外でも、全ての人にとって密接で重要な営みです。自分も教育を受けてきたし、将来は誰かを教育する立場にもなるでしょう。そんな教育について学べることも魅力の一つだと思います。

7.5. 教職課程の難しさ

教職課程には、通常課程にはないハードさがあります。通常より多くの単位が必要になり、授業や課題が増えたり、教職の授業と被ってしまっていて取りたい授業が受講できないといったこともあります。特に、4年次に **15日間参加**する「教育実習」、小学校及び中学校教員免許状に必須となる **7日間**の「介護等体験」は**教職課程特有の重い実習講義**となっています。

上記のような厳しさを踏まえ、教職に就くことを強く希望している学生に限って教職課程の履修が認められています。

7.6. 教職課程の履修にあたって考えること

教職課程の履修を決めても、途中であきらめたり、後悔したりする人はいます。他人の「教職は大変だからやめた方がいい」「教職はとりあえず取っておけ」などといった言葉に惑わされず、**しっかり自分で考えて決めてほしい**です。しかし、新生活の想像が全くつかない！という方に向けて、1年次の教職履修者の生活について、何人か例を挙げておきます。個人差がありすぎるので、あまり参考にせず、へ〜くらいのテンションで見てください。

7.6.1. Aさん(締切ギリギリになると頑張るタイプ)

取得免許状：中学校教諭一種(理科)/ 高等学校教諭一種(理科)

1年次履修単位数：49単位

バイトの時間：12時間/週

サークルの時間：3~6時間/週

落単数：0単位

コメント：本当にすべてギリギリでこなしていた(よくない)。思ったよりもどうにかなるので、無駄に絶望しすぎないのがおすすめ。

7.6.2. Bさん(怠け者)

取得免許状：高等学校教諭一種(理科)

1年次履修単位数：44単位

バイトの時間：0~1時間/週

サークルの時間：2時間/週

落単数：13(うち教職5)単位

コメント：勉強してない自慢は面白くない。。真面目に、コツコツと取り組もう！